

早池峰のユネスコエコパーク認定に向けた動き

早池峰フォーラム実行委員会主催による第24回早池峰フォーラムが、12月4日、盛岡駅前のアイーナで開催された。今年のテーマは、「早池峰と自然保護の未来を考える」である。その基調講演を頼まれていた。演題は「早池峰の森林生態系と自然保護の未来」で60分である。

自己紹介から始め、早池峰を取り巻く法規制、保護林やブランド力、生物多様性の確保や里山の重要性、日本と世界の里山の危機、SATOYAMA イニシアティブ、森林計画制度や機能類型に応じた施業、多様な森林づくりの推進、新しい林業の展開、松くいやナラ枯れ、木質バイオマス、早池峰周辺でのシカ対策、発足した国有林の見回り隊、森林とSDGs、SDGs実践のための暮らしのヒント、COP15の動向、30by30、OECM、登山道管理、登山道法整備に向けた動き、整備基準、岩手山の登山道整備、近自然工法、行動経済学、MY 行動宣言 と、前職の経験を交えながら、良く言えば盛りだくさん、悪く言えば雑多で薄ペラな内容の情報提供を行った。

岩手県自然保護課からは外来種駆除、路上駐車対策、シカ対策、避難小屋対応についての報告、早池峰フォーラム実行委員会からは甲武信ユネスコエコパーク視察報告等があり、討論・意見交換となった。

シカ対策の効果はあったのか、シカ対策を含めた早池峰の長期戦略を検討する場が欲しい、手詰まり感がある、等の厳しい意見もあった。

中嶋代表は、行政職員の人事異動、ボランティアの高齢化、若い登山者などへの情報発信の不足等を認識した上で、エコパークへの登録を目指す過程で、早池峰地域を更に考える機会としたいと締めくくられた。

早池峰フォーラムは、2015年の第17回フォーラムで「目指せユネスコエコパーク」をメインテーマとした頃からエコパークを目指すようになったと聞いている。

実行委員会が作成したQ&Aによると、早池峰は既に多くの自然保護関係の指定を受けておりデータがあるので認定までのハードルは高くなく、あとは自治体の「やる気」だけとのこと。

ユネスコエコパークの認知度は低いため、自治体への働きかけや、取組のPRが重要となる。

このレポートもその一助になれば幸いだ。

- ユネスコエコパークとは (文部科学省 HP)
<https://www.mext.go.jp/unesco/005/1341691.htm>
- 早池峰フォーラムや認定に向けた動き等についての連絡先
早池峰フォーラム実行委員会
代表 中嶋敬治 ayashin@aioros.ocn.ne.jp
事務局長 望月達也 windy_beech_forest@yahoo.co.jp

未来指向・SDGsのフィールドへ
第24回早池峰フォーラム

講演 早池峰の森林生態系と
自然保護の未来

講師 岩手南部森林管理署遠野支署長 山田 亨 氏

2022年12月4日(日) 12:30~16:30
盛岡駅西口 いわて県民情報交流センター
アイーナ・501会議室

○早池峰地域の森林の現状
○早池峰地域の保全対策事業を検証する
○持続可能な地域づくりと
自然保護活動の道を探る

主催：早池峰フォーラム実行委員会
事務局 〒025-0801 花巻市北湯口4-101-38 望月達也 方
TEL/FAX 0198-27-5985 E-mail: windy_beech_forest@yahoo.co.jp

支署長 山田 亨